

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-140	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
226 チアーズ	コ I ・ 359	ATLANTIS Hybrid English Communication I Advanced		

1. 編修の趣旨、及び留意点

- 一 外国語を通じてコミュニケーション能力を総合的に育成するため、実際の言語使用場面や言語の働きに留意した。特に外国語を日常使用している人々にとって自然な表現であることに重きを置き、本書の英語に触れることで、生きた英語が身に着き、また運用できるよう配慮した。
- 二 レッソンの主題となるトピックを入念に選定した。生徒の日常に身近な題材を選ぶことで、興味関心を高めることをねらいとする。また、多様なものの見方や考え方を養うとともに、公正な判断力が養えるような題材にも挑戦した。様々な価値観に触れることで、国際社会に生きる日本人としての自覚を高め、また自分の意見を表現し、社会に参画できるような態度が育成できるよう工夫した。

2. 編修の基本方針

教育基本法第二条の目的を達するために、以下を編修の基本方針とした。

- 一 言語の特性等を幅広く学びながら、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成できる内容とする。
- 二 多様な価値観を学んだり、その内容を他者と交換し合ったりペアワーク等をしたことで、互いの意見が尊重される経験を積み重ねられるような構成とする。
- 三 外国語を通じた世界観に触れ、その有用性や実用性等の知識を学ぶ中で、自他の違いを重んじる態度を育むと共に、主体的に社会に貢献しようとする態度を養えるような内容を扱う。
- 四 世界を舞台とした題材を選んだり、世界に視点を置いた価値観に触れたりすることで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する姿勢に広がりを持つような構成とする。
- 五 進んで外国の文化を理解しようとする態度を育成するとともに、国際理解や国際感覚を養い、国際社会に関心が持てるような内容を厳選する。また、我が国について掘り下げて考えることができるよう配慮する。

3. 対照表

A 目次順にそった対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson 1 Technology of the Future (New technology, technology and health, the cons of technology)	近い将来の科学技術の進歩とその発展について想像しながら、自分自身の身の回りにある生活と関連づけて考察し、科学技術の恩恵を知ると共に、その負の側面についても考えられるよう意を用いた。(第2号)	1～ 10ページ

Lesson 2 American Music (The roots of the blues, jazz, and hip-hop)	アメリカにおける音楽のルーツを通して、その考え方や価値観、歴史的背景が学べるよう意を用いた。(第1号)	11～ 20ページ
Lesson 3 Countries and People of the World (China, America, and Japan's place in the 21 st century)	世界の様々な国々についての基本的な知識を知ると共に、中国、アメリカ、日本の国々を比較検討することで、それぞれの現状と課題について考察できるよう留意した。(第1号)	21～ 30ページ
Lesson 4 Vacation Nightmares (Three vacations gone bad – Europe, Southeast Asia, Latin America)	海外旅行において起こりうる、危険な、しかし現実的なトラブルを紹介する。ヨーロッパ、東南アジア、南アメリカの国々で起きたエピソードを読むことで、社会に対する責任感や公共心にも働きかけられるよう意を用いた。(第3号)	31～ 40ページ
Reading 1 A Conversation with Mozart – Part 1 (Mozart's childhood and young adult years in Salzburg and Paris)	モーツァルトは200年以上も前の偉人であるが、彼の人生と現代の若者の人生には多くの共通点がある、という着眼点で展開する。彼の悩みや苦悩を読み解く中で、多くの気づきが与えられるよう意を用いた。また、会話形式を用いることでより感情移入しやすく、かつ自分自身のことについて考えられるよう意を用いた。(第1号)	41～ 50ページ
Lesson 5 Education (Education systems in Sweden, Switzerland, and Japan)	スウェーデン、スイス、日本の教育を紹介し、それぞれの特徴について学ぶ。他国の教育システムを学ぶことで、我が国の現状の問題点を話し合ったり、学校教育後の就職について思いを巡らしたりすることができるよう意を用いた。(第2号)	51～ 60ページ
Lesson 6 Video Games (The positive and negative effects of video games)	生徒にとって身近な題材であるテレビゲームについて考え、特に子供たちに与える影響力について討論することで問題意識を高められるようにした。(第1号)	61～ 70ページ
Lesson 7 Japan's Changing Population (Japan's low birthrate and aging population)	今日における男女の役割の変化やその問題点について学びつつ、それがどのように日本の出生率や高齢化に関連しているのかを統計やグラフを通して学べるよう意を用いた。(第3号)	71～ 80ページ
Lesson 8 The Olympic Games	2020年東京オリンピックの開催を前に、オリンピックの古代と近代の歴史的背景について学びを深めることで、国際	81～ 90ページ

(The ancient and modern Olympics, the 1964 Tokyo Olympics, the pros and cons of hosting the Games)	理解を深め、我が国の発展に寄与する態度を育成できるよう意を用いた。(第5号)	
Reading 2 A Conversation with Mozart - Part 2 (Mozart's adult years in Vienna)	Reading 1 と同じとする。	91～ 100ページ
Lesson 9 Our Energy Future (Nuclear power, fossil fuels, renewable energy, biofuels - the pros and cons)	エネルギーを視点に、その利便性と恩恵について学べるよう意を用いた。(第4号)	101～ 110ページ
Lesson 10 What Foreigners Think about Japan (The experiences and opinions of four foreigners living in Japan)	日本に住む外国人の異なる価値観を学び、(第2号)、また、外国人の目に映る日本人の姿について学ぶことで、我が国の文化について客観的に考察できるよう意を用いた。(第5号)	111～ 120ページ
Reading Techniques	これまでの Lesson 1～10までの各レッスンの内容を長文問題として再度触れることで知識の定着を図れるよう留意した。(第1号)	121～ 141ページ
Grammar Summary	文法のまとめ一覧表を、これまでの復習として載せた。(第1号)	142～147ページ
Word and Expression List	各レッスンの新出単語、慣用表現の一覧表を載せた。(第1号)	148～153ページ
Pronunciation 発音練習	図、写真、簡単な説明を使用し、できるだけシンプルにした内容で発音指導ができるよう意を用いた(第1号)。	154～155ページ

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

図書の内容	特に意を用いた点や特色	箇所
Lesson 2 American Music (The roots of the blues, jazz, and hip-hop)	ブルース、ジャズ、ヒップホップという音楽のジャンルを通して、その文化的背景や言語の特性等を理解できるよう意を用いた。(学校教育法第二章九)	11～ 20ページ
Lesson 10 What Foreigners Think about Japan (The experiences and opinions of four foreigners living in Japan)	進んで外国の文化の理解しようとする態度を育むとともに、外国人の意見を尊重することをきっかけに、国際社会の平和と発展に理解を示すことができるよう意を用いた。(学校教育法第二章三)	111～ 120ページ

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-140	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
226 チアーズ	コ I ・ 359	ATLANTIS Hybrid English Communication I Advanced		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 1 ・ 繰り返しによる学習。

基礎的・基本的な知識・技能をしっかりと身に付けさせるため、導入から展開へ、少しずつつながりや広がりを持つよう意を用いた。例えば、トピックに関する事項や問題がレッスン全体に渡ること、語彙を少しずつ紹介し、本文では新しい文章の中に組み込まれること、重要文法事項が本文に1度だけではなく、何度も出てくるよう、かつそれが外国語を日常使用する人々にとって自然な表現であることに留意した。

特色 2 ・ 段階を迫った発展的な問題。

学んだ内容を、個人からペアワーク、3～4人のグループワーク、そしてクラス全体で意見交換できるような構成とした。少しずつ発展的な問題に取り組むことによって、自ら考え、判断し、表現する力が身に着くよう、またその過程で少しずつ外国語学習に自信が持てるよう配慮した。

特色 3 ・ 継続的な学習意欲の育成。

自主的に学習に取り組み、外国語に興味・関心が強まるよう、外国語を使用している人々を中心とする世界の人々やその世界観をふんだんに味わうことができるような構成とした。視覚に訴える写真、図、題材、問題等が、学習意欲を継続させることを期待する。

2. 対照表

A. 各レッスンにおける構成とその対照表（1レッスンにおける授業時数）

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
1. Cover Page レッスンで学ぶトピックや文法事項についての概要を把握する。	内容（1）ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	各レッスン 1 ページ目	1
2. Grammar points 文法を先に学習することで、Reading 導入への抵抗感を和ら	内容の取扱い（2） 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校	各レッスン 2 ページ目 (レッスン	

げ、スムーズな移行を図る。	における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。	1のみ2, 3ページ目)	
3. Vocabulary from Context 短い自然な会話表現から文脈をひも解き単語の意味を予測する。	内容(1)イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 内容(2)ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。	各レッスン 3ページ目	1
4. Pre-Reading 本リーディングに入る前に、そのトピックについての予備知識を導入する。効果的な質問や写真を用いて、生徒の知的好奇心を刺激し、想像力を培う。	内容(1)ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	各レッスン 4ページ目	
5. Reading 4パートに分かれる。学んだ文法事項を順番に配列するとともに、何度も繰り返して文法事項を含んだ文を組み入れた。段階を踏んだアプローチによって、着実に定着していくことをねらいとする。	内容(1)イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 内容の取扱い(2) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。	各レッスン 5、6、7 ページ目	4
6. Comprehension and Communication 復習に、本リーディングの内容理解問題を行う。出題形式を10種類以上と多岐にわたる内容になるよう留意した。様々な問題に触れることで発展的な内容にも対応できる力を身につける。	内容(1)エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。	各レッスン 8ページ目	1
7. Grammar Practice 主要文法事項の練習問題を行う。繰り返しによる定着を図る。	内容(2)イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたり	各レッスン 9ページ目	

	すること。		
8. Optional Reading 外国出身者がどのような意見を持っているのかに触れ、レッスンの内容理解をさらに掘り下げる。	内容（２）ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。	各レッスン 10ページ 目	1
9. Listening 学習した内容をもとに、情報や考えを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	内容の取扱い(1) 中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を適切に取り入れながら、四つの領域の言語活動を有機的に関連付けつつ総合的に指導するものとする。		
10. Writing and Speaking (class discussion) レッスンのトピックに関して自分の意見を英語で表現する力を身につける。	内容（１）ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。		
		計	8

B. 目次順にそった対照表（年間指導時数）

※各レッスンについては、内容は上記の通りなので、ここでは主要文法項目のみを記載する。

（第三章英語に関する各科目共通する内容等ウ文法事項）

また、本文中の単語数、新出単語数、新出慣用表現数は、図書、通し番号ページvを参照する。

（第三章英語に関する各科目共通する内容等ア連語及び慣用表現）

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
Lesson 1 Technology of the Future (New technology, technology and health, the cons of technology)	英語の5文型、SVO (O=that 節)	1～ 8ページ	8
Lesson 2 American Music (The roots of the blues, jazz, and hip-hop)	不定詞 動名詞	11～ 20ページ	8
Lesson 3 Countries and People of the World (China, America, and	関係代名詞 関係代名詞 what 関係代名詞の限定用法	21～ 30ページ	8

Japan's place in the 21 st century)			
Lesson 4 Vacation Nightmares (Three vacations gone bad – Europe, Southeast Asia, Latin America)	過去進行形 現在分詞の叙述用法 分詞構文	31～ 40ページ	8
Reading 1 A Conversation with Mozart - Part 1 (Mozart's childhood and young adult years in Salzburg and Paris) (レッスン1～4で学んだ全ての文法事項を含んだ総復習できる構成。)	内容の取扱い(2) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。 内容(1) エ聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。	41～ 50ページ	6
Lesson 5 Education (Education systems in Sweden, Switzerland, and Japan)	受け身 過去分詞の叙述用法 過去分詞の限定用法	51～ 60ページ	8
Lesson 6 Video Games (The positive and negative effects of video games)	SVOC (C=現在分詞) SVOC (C=原形不定詞) SVOC (C=過去分詞)	61～ 70ページ	8
Lesson 7 Japan's Changing Population (Japan's low birthrate and aging population)	現在完了形 現在完了進行形 過去完了形	71～ 80ページ	8
Lesson 8 The Olympic Games (The ancient and modern Olympics, the 1964 Tokyo Olympics, the pros and cons of hosting the Games)	関係副詞 if/whether (副詞節として使う場合) 間接疑問文	81～ 90ページ	8
Reading 2 A Conversation with Mozart - Part 2 (Mozart's adult	内容の取扱い(2) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等	91～ 100ページ	6

years in Vienna) (レッスン5～8で学んだ全ての文法事項を含んだ総復習できる構成。)	学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。 内容(1) エ聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。		
Lesson 9 Our Energy Future (Nuclear power, fossil fuels, renewable energy, biofuels - the pros and cons)	仮定法過去 I wish 仮定法 仮定法過去完了	101～ 110ページ	9
Lesson 10 What Foreigners Think about Japan (The experiences and opinions of four foreigners living in Japan)	関係代名詞の非制限用法 関係副詞の非制限用法 同格の that 節	111～ 120ページ	9
Reading Techniques 長文読解問題10題	内容(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 内容(1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。	121～ 141ページ	10
Grammar Summary 文法のまとめ	内容の取扱い(2) 生徒の実態に応じて、多様な場面における	142～147 ページ	適宜
Word and Expression List 単語慣用表現の一覧表	言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする	148～153 ページ	適宜
Pronunciation 発音練習	内容(2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。	154～155 ページ	1
		計	105